



瀬谷青指だよい

せやっこ農体験

今年度も行われた「せやっこ農体験」
上瀬谷の田畑で行われた様子を紹介します！

第1回 5/14 畔塗り、代掻き、サトイモ、サツマイモ植付け

5月にしては少し肌寒い曇り空の中、今年度のせやっこ農体験が始まりました。子どもたちは寒さなど気にせずサトイモ、サツマイモの植付けを、農家の高橋さんの指導に沿って作業を行うことができました。田んぼに入り畔塗りを始め、しばらくすると泥んこ遊びをする子もいました。代掻きではなるべく汚れないように気を付けていた青少年指導員も子どもたちに追いかけれ、はねた泥が顔についたのも気にせずに逃げまわっていました。



畔塗りの様子

第2回 6/11 田植え 落花生の植付け

初めての田植えは、やわらかい土壌にしっかり差さないと、たおれたり、浮いてきてしまったりして簡単そうに見える田植えに苦労しました。しっかり実ることを祈るばかりです。

第3回 9/10 かかしづくり サツマイモ、落花生の収穫

大きく育ったサツマイモは掘るのも一苦労。その分、子どもたちの満足した笑顔が見られました。収穫のあとに作ったかかしは、ひょうきんな顔をしているものから人間に近い体型をしているものなど色々。それらのかかしを見て笑いが止まりませんでした。



第4回 10/15 稲刈り、はざかけ サトイモの収穫

当日は、あいにくの雨となってしまいましたが、子どもたちは、カッパを着て稲刈りやはざかけをしました。

刈り取ったときに落とした稲を田んぼの隅々まで点検し一本残らず拾いあげて、はざかけをやり遂げました。

今夏は雨の日が多く稲穂の成長が心配されましたが、しっかり実っていました。



第5回 11/19 食育と玄米の試食

いよいよ農体験も最終回を迎えました。子どもたちは畑から離れ、区役所で食育に関するお話を聞きました。

途中で出題された「野菜クイズ」では大盛り上がり！

お話のあとは、待ちに待った自分たちで収穫した玄米の試食がありました。一口サイズのおにぎりを、みんな大喜びでパクッ！

おいしい笑顔で、今年のせやっこ農体験を終えることができました。

瀬谷っ子探検隊

11月5日、雲ひとつない晴天のもと、旭区の「こども自然公園」にて瀬谷っ子探検隊 2017 が開催されました。

当日の朝、71名の参加者は三ツ境駅と瀬谷駅に集合し、9グループに分かれて電車で二俣川駅へ。そこから横浜で最大級の広さと言われる「こども自然公園」を目指して歩きました。



とりでの森前広場で開会式を行った後、グループに分かれ「こども自然フォトビンゴ」に挑戦。各グループが地図と写真を頼りに公園内をみんなで元気に歩き回りました。制限時間が残り少なくなったころには、写真と同じ景色を走って見つけようとするグループもありました。フォトビンゴ終了後は昼食。シートを広げておしゃべりしながらおいしそうにお弁当を食べていました。昼食後の自由時間も、とりでの森のアスレチックで遊びましたが、疲れを知らない子どもたちでした。閉会式ではフォトビンゴの結果発表、表彰式です。

1位から3位のグループに金・銀・銅のメダルが授与されました。メダルを首にかけてもらった子どもたちはみんな笑顔でした。おめでとう！

残念ながらメダルをもらえなかったみなさん、来年またチャレンジしようね！



全員が参加賞をもらい、「こども自然公園」をあとにしました。三ツ境駅と瀬谷駅で子どもたちを保護者に引き渡し、楽しかった瀬谷っ子探検隊 2017 は無事終了しました。

開会式



瀬谷かるた大会

「青少年指導員制度50周年記念 第14回瀬谷かるた大会」が1月28日に瀬谷センター体育館で開催されました。今年度も元気な小学1年生から6年生までの55チーム161名が参加しました。

大会は、学年ごとに分かれて行われ、1チーム3名の対抗戦で予選リーグを勝ち上がった4チームが決勝トーナメントに進み、優勝を争います。チームによっては、パーカーやTシャツといったお揃いの衣装で参加したり、バンダナやリボンなどで一体感を出すなど、どのコートの子どもたちも真剣な目つきで熱戦が繰り広げられました。

コートの周辺は応援に来た保護者やお友達などでいっぱいです。

かるたを読む都合上、静かに見守る応援ですが、熱い気持ちは伝わってきます。真剣勝負だからこそ悔し涙を流し、来年こそ勝つ！と、歯を食いしばる子どももいました。



大会の最後には表彰式が行われ、3位以上のチームは森瀬谷区長より表彰されました。今年優勝した6年生チームは6年間同じメンバーで出場し続け、実に5回優勝するなど、大きく盛り上がりました。札の読み手は今年も瀬谷区の朗読ボランティア「風の会」の皆様にお願ひしました。

来年は瀬谷区制50周年記念大会になります。今年以上に盛大な大会が期待されます。



青少年指導員制度50周年記念 第14回瀬谷かるた大会 各学年の順位

学年	優 勝	準優勝	3 位
1年	あずまのクローバー (二つ橋小)	トリオフラザース (二つ橋小)	チーム☆あさり (瀬谷小)
2年	スーパー2年生 (瀬谷第二小)	阿久和の花 (阿久和小)	このりっかなース (瀬谷第二小)
3年	ドラゴン&フラワース (瀬谷小)	ふたつぼしシスターズ (二つ橋小)	阿久和の夢 (阿久和小)
4年	レジェンド (三ツ境小)	阿久和の虹 (阿久和小)	チェリーフロッサム (瀬谷さくら小)
5年	MNM太陽☆スター (三ツ境小)	コスモスリーガールズ (三ツ境小)	瀬谷第二学童B (瀬谷第二小)
6年	レインボー (瀬谷小)	ぴーにゃっつ (南瀬谷小)	阿久和の雪 (阿久和小)

※小学校名は、チームリーダーの通う小学校です。

阿久和北部地区活動紹介



せやまる

阿久和北部は7月8日、スポーツ推進委員と合同で開催した、自治会の子どもたちとのこども自然公園青少年野外活動センターでの1泊キャンプを紹介します。

当日は、三ツ境駅に集合。いざ二俣川駅に向かって班ごとに行動開始です。天気は気持ちよく晴れて絶好のキャンプ日和でした。公園に着き、センターでの入所式を待つ間に、広場でジャンボシャボン玉競技を行い、みんなでシャボン玉の大きさなどを競いました。入所式を終えたあと、キャンプでのメインイベントであるカレー作りにとりかかりました。ここでは、子どもたちが参加者全員分の調理を行います。



子どもたちだけで料理をする様子。真剣そのものです。

野外でのカレー作りは、どのグループも美味しく上手に作る事ができ、満足した顔をしていました。その様子を見て、キャンプでの合同作業を実施するという目的が達成できたと感じられました。

キャンプでの集合写真



みんな笑顔でいただきます～

阿久和南部では、夏にデイキャンプ、秋はウォークラリーを行っています。

8月5日、原小学校校庭で原小・阿久和小の子どもたちと共にデイキャンプを開催しました。

校庭で昔遊び、シャボン玉、スポーツ推進委員とのカローリング、横浜市体育協会とのスポーツ、野外活動員とのキャンプファイヤーをそれぞれ行いました。

キャンプファイヤーは火の神様が点火して始まり、その周りで楽しく遊びました。

夕食は薪を焚いて、カレーとご飯を作り、みんなでおいしく食べました。



これは

阿久和南部地区活動紹介

火の神様登場！



キャンプファイヤーもスタート

11月5日に開催したウォークラリーは、原小・阿久和小の子どもたちと、各自治会の会員が参加しました。阿久和南部周辺・阿久和北部・三ツ境・泉区の一部を、安全に配慮しつつ地図を見ながら歩きます。

当日は1組ごと順番にスタート。チェックポイントではその場で問題を解き、観察ゾーンでは様々なものをメモしておき、ゴール地点でそれに関する問題を解きました。食事をとった後は表彰式を行い、賞品を渡しました。ウォークラリーは当日参加もできます。

運営に際して、みなさまにご協力いただき、ありがとうございました。



地域の方々にカレーを配膳していただきました

瀬谷区全体研修会

6月18日、瀬谷区役所にて青少年指導員の全体研修会を行いました。

今回の研修会は、(公財)よこはまユース総務部長である大槻繁美氏を講師に迎え、「子どもとの関わりについて」～子ども達の自尊感情を育て、自己肯定感をもってもらうには～をテーマに講演して頂きました。

私たちが青少年育成活動をしていく中では難しい課題ですが、分かりやすく話して頂きました。子どもが学校の先生や保護者以外の地域の大人たちとコミュニケーションを取ることで、子ども自らの自尊感情や自己肯定感を高めていくことになるなど、様



々な人たちと関わることの重要性や伝え方のポイントを話して頂きました。

講演の途中で、兵庫県教育委員会が作成した「子どもの話を聴くときは」という朗読を聞かせて頂きました。動画サイトでも視聴出来るので参加されていない方も是非聞いて頂きたいと思います。講演会後のアンケートでは参加者の多くが今後の活動に活かせそうだと答え、「もっと子どもの話を聞いてあげようと思った」、「青少年指導員として活動していくために必要な内容がたくさん盛り込まれていて、とてもよかった」などの感想が寄せられました。



普段なかなか聞けない講演に、参加者は有意義な時間を過ごせました。

全市一斉統一行動「パトロール活動」

今年度のパトロールは、小学校が夏休みに入った直後の土曜日、7月22日に実施しました。

瀬谷第二地区では、二班に分かれて地区内のコンビニや公園等を重点的に、一時間ほど巡回しました。

この日は、瀬谷さくら小学校でお祭りがあったため公園に子どもたちが残っており、帰宅を促すなどの声かけをしました。

今後も、安全で安心して暮らせる地域にすべく、活動を続けていきます。



パトロールに行ってきます!

青少年指導員制度50周年記念

神奈川県と横浜市では、青少年指導員制度の50周年を記念し、今年度様々な催しや記念誌の発行が行われました。横浜市青少年指導員のシンボルマークも新しく選定されることとなり、より一層の活動の励みとなります。今後とも、青少年指導員の活躍にご期待ください!

平成29年度 表彰

★神奈川県青少年指導員表彰

池田 一昭(瀬谷第二)

★神奈川県青少年育成功労者表彰

高橋 三雄(三ツ境)

★神奈川県青少年育成活動推進者表彰

臼見 好生(相沢)

★横浜市青少年指導員永年勤続者顕彰

【20年顕彰】

吉川 正敏(本郷)

池田 一昭(瀬谷第二)

秋山 季巳(瀬谷第四)

【10年顕彰】

山家 正裕(瀬谷第一)

山坂 英実(瀬谷第一)

平川 裕介(瀬谷北部)

竹山 栄子(細谷戸)

大森 博幸(宮沢)

平本 雅典(相沢)



編集後記

今年度は青少年指導員制度50周年という節目の年。

3月11日には記念大会が横浜みなとみらいホールで実施されました。50年前といえば瀬谷はまだ分区前で戸塚区、一般的な区役所業務は瀬谷支所で行われていました。また、現在の瀬谷区の大半は瀬谷町で、番地は南から北まで8000番台まであったと記憶しています。

編集委員長 菅野広章

【発行】瀬谷区青少年指導員連絡協議会
【編集】瀬谷区青少年指導員編集委員会
【事務局】瀬谷区地域振興課
電話 367-5696
FAX 367-4423

青指…青少年指導員の略
あいちゃん…青指のマーク
せやまる…瀬谷区のキャラクター